

子どもたちのインターネット利用の現状②

～ネットは子どもたちのコミュニケーションの場～

「発信した情報はあっという間に拡散し、広く一般に共有される」のがインターネットの世界です。しかし、子どもたちはインターネットの世界を、“公の空間”ではなく、“プライベートな空間”のように使ってしまうため、様々なトラブルが発生します。子どもたちは、どのような状況で、どのようなアプリやサービスを使っているのか、またその問題点等を紹介します。

<p>ネットで会話を 楽しみたい</p> <p>LINE +メッセージ Skype 他</p> <h4>リアルなおしゃべりもネットを使う</h4> <p>『無料通話アプリ』『メッセージアプリ』『チャットアプリ』等と称され、仲間が多い世代の必需品。連絡先を知る相手との1対1またはグループでのトークは非公開が基本。閉じた環境のため安全な反面、悪口やいじめの温床になることも。一部のチャットアプリに起因するトラブルも増えている。</p>	<p>今の思いや気持ち、 考えをつぶやきたい</p> <p>Twitter 他</p> <h4>広く多くの人たちと情報交換</h4> <p>『SNS』の王道的サービス。基本的には公開で使われるが、非公開設定も可能。有名人の投稿を読むために登録すれば当然投稿も可能となる。不適切な投稿で炎上、ダイレクトメッセージ機能で直接やりとりしてトラブルに発展するなど、利用者が不特定多数なだけに気をつけたい点は多い。</p>
<p>画像や写真、動画 を見てほしい</p> <p>TikTok SNOW MixChannel 他</p> <h4>自分を表現するステージ?</h4> <p>作品や思い出のアルバムから“自己表現の場”へと目的が変わりつつあるサービス。権利を気にせず使えるBGM等、10代が好む機能がいろいろ。アイディア次第で評価されることから撮影に夢中になり、生活に支障が出るケースも。顔や場所等の公開に関するリスクを考えながら使わせたい。</p>	<p>動画を見たい& 配信したい</p> <p>YouTube ツイキャス ニコニコ動画 他</p> <h4>動画はネットで楽しむもの</h4> <p>ネット配信用の動画だけでなく、見逃したテレビ番組を視聴できる公式アプリなど、あらゆる動画がスマホで楽しめる。SNSにLIVE動画配信機能が追加されハードルが下がり、自ら配信する若者が急増。人気投稿者の存在も拍車をかけている。閲覧数を増やそうと過激な内容を配信する子も。</p>

【注】 で囲まれた名称は、子どもたちによく使われているアプリやサービスの一例です。

<参考>・総務省「インターネットトラブル事例集（2018年度版）」

http://www.soumu.go.jp/main_content/000590558.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】 福井県安全環境部県民安全課

☎0776-20-0745（直通） メール：kenan@pref.fukui.lg.jp